

水溶性溶剤塗料 GRANDE®

ダイレクト仕様書

内外部壁面 屋根 付帯

有機HRC

製品名	グランデ有機HRC ダイレクト仕様
種別	水溶性2液溶剤形ハイグレード有機HRC塗料
荷姿	12.8kg/セット、6.4kg/セット
適用カラーバリエーション	標準色(64色)、屋根用耐候性強化色、屋根用遮熱色、日塗工色など
用途	内外部壁面、一般屋根、付帯部など
適用基材	窯業系サイディング、金属系サイディング、RC、ALC、モルタル、各種旧塗膜、スレート瓦、セメント瓦、カラー鋼板、シングル材、硬質塩ビ、木など

工程	材料	調合	所要量/m ² /回 (塗布面積/セット/回)	施工器具	塗回数	間隔時間 (23°C)	可使時間 (23°C)	
素地調整	①下地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は取り除いてください。 ②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去してください。 ③150Kg/cm ² 以上の圧力で入念に高圧洗浄した後、十分に基材を乾燥させてください。							
上塗り	グランデ 有機HRC	主剤	12kg	0.12~0.16kg (80~106m ²)	刷毛 中毛ローラー	2	4時間以上 5日以内	4時間以内
		硬化剤	0.8kg					
	清 水	0~5%						

注意事項

- 乾式洋瓦へのダイレクト仕様は避けてください。
- 金属系基材に塗布する場合は、事前に十分な目粗しを行い、発錆箇所はケレンしたうえでび止め塗料を拾い塗りしてください。
- 吸込みの多い下地は塗回数が増える場合があります。必ず十分に吸込みが止まっていることを確認した後、仕上塗りをしてください。
- ダイレクト仕様では、中塗り材セラベースは使用できません。
- 素地調整や下地補強、防錆効果など、各種下塗り材特有の機能はございません。現場条件や基材の状況によって仕様をご選択ください。
- グランデ有機HRC以外の塗料にダイレクト仕様は適用できません。
- 塗料の使用期限は未開封の状態水性製品、水溶性溶剤製品6ヶ月、油性製品12ヶ月です。開封後はなるべく早めに使ってください。
- 上記記載内容は標準的なものです。種々の条件により各々多少の誤差を生じる場合があります。
- グランデ有機HRCを付帯部に直接塗装する際は、サンドペーパーや研磨パット等であらかじめ目粗ししてください。
- 塗料使用の際は主剤と硬化剤の調合を守り、内容物が均一になるよう十分に攪拌してください。
- グランデ有機HRCの攪拌初期は硬化剤が水となじみにくいため手動で軽く攪拌しただけでは混合不良となる場合があります。必ず電動攪拌機をご使用ください。
- 希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌してください。調合割合を誤ると光沢や隠ぺい性が悪くなります。
- ローラーで施工する際は、気泡の発生や毛抜けの少ないウーブンタイプのローラーをご使用ください。また、テープなどであらかじめローラーの浮遊繊維を処理してからご使用ください。
- 所要量は厳守してください。所要量が少ない場合、点錆の発生、耐久力の低下、色相の違い、隠ぺい力の低下が起きる恐れがあります。
- 施工環境が気温5°C以下の場合、湿度85%RH以上の場合、結露が発生する可能性がある場合は、外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けてください。仕上がり不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- 被塗物の表面温度が5°C以下の場合には塗装を避けてください。
- 常に結露が発生する地域、時期、場所での塗装は避けてください。
- 夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保してください。
- シーリング材の上に施工する場合、シーリング材の種類等により、汚染、密着不良、割れが発生することがありますので、基本的には行わないでください。やむを得ず塗装する場合は、重ね塗り適合性を十分確認の上、施工して下さい。
- 塗装しない箇所は前もって塗料が付着しないように養生してください。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取ってください。
- 素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗り替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去してください。
- 水洗い後は日数を空け十分に乾燥させてください。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないでください。
- 工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地の乾燥時間を確認してから塗装してください。
- 塗料は、冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理してください。
- 塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分してください。(排水路、河川、下水、土壌を汚染する場所へ廃棄しないでください。)
- 材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用してください。
- ご使用の際は各商品の容器に記載されている注意事項をよく守ってください。又、詳細な内容は安全データシート(SDS)をご確認ください。

第1版 2026.04.03 作成